

「茉凛ちゃん一緒に帰らない？
この前言った映画良かったら…」

「ごめん私今日
塾だから。今度、ね？」

私は彼に
ウソをついている…

勉強勉強と子供の頃から
煩い両親だった。
お陰で成績は良いほう、
最近クラスメイトに告られて
断るのもメンドクで付き合う
ことにした。
高●生のくせに背伸びして
指輪なんかもくれたけど…

お行儀良く、横並びな
学校生活は正直タイクツ。
だから私は今、誰にも秘密な
いけないアソビにハマってる。

「茉凛ちゃんだね？」

今日の相手は
サイトで新しく知り合った
このオッサン。
結構出してくれるらしい。

私はこんなことを
彼此5、6年は続けてる。
お金も稼げるし
何より…



んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

チ●ボも♡
今までで一番
大きいかも♡

ハア♡

「今日のために
1週間溜めて来たんだよ♡
いっぱい楽しもうね♡
茉凜ちゃん♡」

んっ♡

んっ♡

んっ♡

ハッ♡

素性も知れないこんなオッサンと
一線を越えちゃう背徳感が結構好き♡

「はあはあ♡ホテル入るなり
がつつきすぎだよ茉凜ちゃん♡
エロい娘だね♡」

「おじさんこそ♡駅前から
チ●コガン勃起だったじゃん♡
あれじゃあこれからやりますって
言って歩いてる様なもんじゃん♡」

「へへ♡サイトで写真見せてもらった時から
興奮しっぱなしだったよ♡しかも
あんな優秀な高●の娘がこんなことしてるんだもんね♡」

慣れた手つきでお尻撫で回されて…
エッチなキスまで♡
このおっさん結構上手いかも♡
それに…

モァ♡

キン○マ重お♡
これから交尾を控えた
成熟したオスの匂いも
これコーワンするう♡

「えへ♡おじさんへんタイだね♡
いいよ♡いっぱいしよう♡」

ずっ♡

ガボポっ♡ギョポっ♡
グボポポっ♡じゅるっ♡

「おおおお♡JK即尺フェラ気持ちいい♡
それにこのフェラテク♡
チン○引っこ抜かれちゃうよ♡」

私にコリフンしてバキバキになった
男のチ○ポをこうして手玉に取るの好き♡
いい大人が腰ガクガクさせて情けなく
鳴いちゃって…♡

カホ♡

カホ♡

カホ♡

カホ♡

カホ♡

「茉凜ちゃんフェラ上手いねえ♡
絶対誰かに仕込まれたでしょ♡
経験人数何人くらい?♡」

「わふあんまいれろお♡
ひゃふひんふらい?♡」

(わかんないけど♡
100人くらい?♡)

「おほお♡お喋りの時もチ○ポ離さないの
良いねえ♡声がチ○ポに響くぅ♡」

「って100人ってww♡
とんでもないエロ娘がいたもんだ♡」

「このままじゃ
折角溜めた精子
フェラで出ちゃいそうだよ♡」

「ほら茉凜ちゃん♡ゴムするから
良いよね?♡上跨って♡」



「はっ♥んくう♥
あっ♥あっ♥これっ♥やバイ…かも♥」

「はあ♥はあ♥良いね茉凛ちゃん♥
騎乗位上手だよ♥」

「やっばい♥このおっさんのチ●ポ…」

「知らないトコまであたるうう♥♥

「乳首ピアスもユサユサ可愛いよ♥
自分で開けたの?♥」

「こっ♥これはあ♥
今まで付き合ってたパパがっ♥
これあったほうが♥
良いからっ♥あっ♥」

「へえ♥そのパパに
色々教わったんだね♥
羨ましいなあ♥」

「こんな年からこんな悪いこと
覚えて…イケない娘だっ♥」

「らってえ♥

「キモチ良いんだもん♥
あっ♥それらめっ♥」

「じゃあもっ♥と気持ち良く
なろうよ茉凛ちゃん♥」

「しちやおうよ
生で♥」

「そっ♥それは流石に
ダメっ♥あっん♥」

「ちくび♥
あっ♥」

「もちろん外に出すし
お金も倍出すからね?♥」

「今日会ったばかりのおっさんと
生ハメなんて…絶対ダメっ!
でも…このチ●ポ…
今ナマで挿れたらっ♥」

「オオオオオオっ!!♡♡♡♡♡
おっ♡おほおほおっ♡」

「ほおおお♡JK生マ●コ最高っ♡
経験人数3桁とは思えない締め付けだよ♡
お金出した甲斐があったよ茉凛ちゃん♡」

「ホントに最高だよ
茉凛ちゃんのオマン●♡」

「それじゃあ
そろそろ出すよ?♡」

っ!?

そんなの…ダメに
決まってるのに

本気の交尾い♡
チヨココーンするう♡

「わっわかったからああ♡
一回だけだから♡
あっ♡そこらめえ」

おっ♡
まっれえ♡

「やった♡じゃあ行くからね!!
合意の上だからね!!♡」

やっばい♡
奥までずんずん響いて♡
カリ首でぞりぞり裏えぐられる♡
生ハメってこんなに
気持ちいいんだ♡

「ちよつとっ♡まっれえ♡
出すのは♡あああっ♡らめえ♡」

「大丈夫大丈夫♡すぐピル飲めば良いから♡
それにお金もさらに倍出すからっ♡
良いよね?♡もうおじさん限界だからっね?♡」

「おじさんの1週間分のザーメン
全部しっかり受け止めるんだぞ!!
茉凛!!♡♡♡」

ドチ♡
ドチ♡
ドチ♡

「おっほおおおおお」♡

本能で一番奥まで

「あああああ♡良いよお茉凜ちゃん♡
子宮口きゅうきゅうじで精液
吸いだされてるよお♡」

やばいいい♡イクの
止まらないいい♡♡

まだ中でドクドクしてるうう♡

EN✓

↑↑♥

12/12

厚

150

「JKマ●コに種付け最高だよ♡
ありがとうね茉凜ちゃん♡」

ホントはダメなのに：
子宮喜んじゃってるう♡

中出しアクメええ♡
これ…クセになっちゃうかも♡



和田学園高

【学生証】



学籍番号 00324245

氏名 竹井 茉凛

生年月日 20
発行日 20

上記の者は本学校の
発行日 22年

「はあああ♡
全部出し切ったよ茉凛ちゃん
ほらっおじさんの
種付け汁見して♡」

「写真撮るから笑ってピースして♡
おじさんの出した後広げてごらん♡」

マジでサイアク…だけど♡

今までで一番
コーションした♡♡

ハァ♡

ハァ♡

ハァ♡

ハァ♡

ドロオオ…♡

「おじさん…♡まだ出来る？♡
どうせもう出しちゃったし…♡今日は何回
出しても同じだから…ね？♡」

「へへ♡♡ヘンタイだね茉凛ちゃん♡
まだまだ出せるよ♡その変わり
当たっても責任は取らないからね？♡」

「わっわかったあ♡そんな時は
今カレに何とかして貰うからあ♡
だから早くシよ？♡♡」

しょうがないよね…♡
こんな気持ちいいこと
他では絶対味わえないんだから♡

グ
グ
グ
グ
グ



21:17

TELEPHONE

メッセージ受信

まだ塾かな？今度勉強教えてもらいたいから家！

表示

閉じる















和田学園高

【学生証】



学籍番号 00324245

氏名 竹井 茉凜

生年月日 20

発行日 20

上記の者は本校の
発行日 22年



グ
グ
グ
グ
グ

「茉凛ちゃん一緒に帰らない？
この前言った映画良かったら…」

「ごめん私今日
塾だから。今度、ね？」

私は彼に
ウソをついている…

勉強勉強と子供の頃から
煩い両親だった。
お陰で成績は良いほう、
最近クラスメイトに告られて
断るのもメンドクで付き合う
ことにした。
高●生のくせに背伸びして
指輪なんかもくれたけど…

お行儀良く、横並びな
学校生活は正直タイクツ。

だから私は今、誰にも秘密な
いけないアソビにハマってる。

「茉凛ちゃんだね？」

今日の相手は
サイトで新しく知り合った
このオッサン。
結構出してくれるらしい。

私はこんなことを
彼此5、6年は続けてる。

お金も稼げるし
何より…



んっ♡

っ♡

んっ♡

チ●ボも♡
今までで一番
大きいかも♡

ハア♡

「今日のために
1週間溜めて来たんだよ♡
いっぱい楽しもうね♡
茉凛ちゃん♡」

んっ♡

っ♡

っ♡

ハッ♡

素性も知れないこんなオッサンと
一線を越えちゃう背徳感が結構好き♡

「はあはあ♡ホテル入るなり
がつつきすぎだよ茉凛ちゃん♡
エロい娘だね♡」

「おじさんこそ♡駅前から
チ●コガン勃起だったじゃん♡
あれじゃあこれからやりますって
言ってる様なもんじゃん♡」

「へへ♡サイトで写真見せてもらった時から
興奮しっぱなしだったよ♡しかも
あんな優秀な高●の娘がこんなことしてるんだもんね♡」

慣れた手つきでお尻撫で回されて…
エッチなキスまで♡
このおっさん結構上手いかも♡
それに…

モアッ♡

キン○マ重お♡
これから交尾を控えた
成熟したオスの匂いも
これコーワするう♡

「えへ♡おじさんへんタイだね♡
いいよいっぱいしよう♡」

ずっ♡

ガボポっ♡ギョポっ♡
グボポポっ♡じゅるっ♡

「おおおお♡JK即尺フェラ気持ちいい♡
それにこのフェラテク♡
チン○引っこ抜かれちゃうよ♡」

私にコリッソッしてバキバキになった
男のチ○ポをこうして手玉に取るの好き♡
いい大人が腰ガクガクさせて情けなく
鳴いちゃって…♡

カホ♡

カホ♡

カホ♡

カホ♡

カホ♡

「茉凜ちゃんフェラ上手いねえ♡
絶対誰かに仕込まれたでしょ♡
経験人数何人くらい?♡」

「わふあんまいれろお♡
ひゃふひんふらい?♡」

(わかんないけど♡
100人くらい?♡)

「おほお♡お喋りの時もチ○ポ離さないの
良いねえ♡声がチ○ポに響くぅ♡」

「って100人ってww♡
とんでもないエロ娘がいたもんだ♡」

「このままじゃ
折角溜めた精子
フェラで出ちゃいそうだよ♡」

「ほら茉凜ちゃん♡ゴムするから
良いよね?♡上跨っで♡」

「はっ♡んくう♡♡
あっ♡あっ♡これっ♡やバイ…かもお♡」

「はあ♡はあ♡良いね茉凛ちゃん♡
騎乗位上手だよ♡」

「やっばい♡このおっさんのチ●ポ…」

「知らないトコまであたるうう♡♡」

「乳首ピアスもユサユサ可愛いよ♡
自分で開けたの?♡」

「こっ♡これはあ♡
今まで付き合ってたパパがっ♡
これあったほうが♡
良いからっ♡あっ♡」

「へえ♡そのパパに
色々教わったんだね♡
羨ましいなあ♡」

「こんな年からこんな悪いこと
覚えて…イケない娘だっ♡」

「らってえ♡
キモチ良いんだもん♡
あっ♡それらめっ♡」

「じゃあもっ♡と気持ち良く
なろうよ茉凛ちゃん♡」

「しちやおうよ
…生で♡」

「そっ♡それは流石に
ダメっ♡あっん♡」

「ちくび♡
あ♡」

「もちろん外に出すし
お金も倍出すからね?♡」

「今日会ったばかりのおっさんと
生ハメなんて…絶対ダメっ!!
でも…このチ●ポ…
今ナマで挿れたらっ♡」

「オオオオオオっ!!♡♡♡♡♡
おっ♡おほおほおっ♡」

「ほおおお♡JK生マ●コ最高っ♡
経験人数3桁とは思えない締め付けだよ♡
お金出した甲斐があったよ茉凛ちゃん♡」

「ホントに最高だよ
茉凛ちゃんのオマン●♡」

「それじゃあ
そろそろ出すよ?♡」

ん♡あ♡あ♡あ♡
っ!?

そんなの…ダメに
決まってるのに

本気の交尾い♡
チヨココーンするう♡

「わっわかったからああ♡
一回だけだから
♡あっ♡そこらめえ」

お♡う♡まっれえ♡

「やった♡じゃあ行くからね!!
合意の上だからね!!♡」

やっばい♡
奥までずんずん響いて♡
カリ首でぞりぞり裏えぐられる♡
生ハメってこんなに
気持ちいいんだ♡

「ちよつとっ♡まっれええ♡
出すのは♡あああっ♡らめえ♡」

「大丈夫大丈夫♡すぐピル飲めば良いから♡
それにお金もさらに倍出すからっ♡
良いよね?♡もうおじさん限界だからっね?♡」

「おじさんの1週間分のザーメン
全部しっかり受け止めるんだぞ!!
茉凛!!♡♡♡」

ドチ♡ドチ♡

ビュルルルっ♡

「おっほおおおおっ♡」

これ…すっごい♡

本能で一番奥まで

こじ開けられてる♡

チ○ポビクビク
痙攣してるの
分かるぅぅ♡

ルルッ

「ああああ♡良いよお美凛ちゃん♡
子宮口きゅうきゅうして精液
吸いだされてるよお♡」

おっほおっほおっほ
おっほおっほおっほ
おっほおっほおっほ

「JKマ○コに種付け最高だよ♡
ありがとうね美凛ちゃん♡」

ドク…ドク…

おっほおっほおっほ
おっほおっほおっほ
おっほおっほおっほ

やはらしい♡イクの
止まらない♡
まだ中をクイクしてるぅ♡

中出しアクメええ♡
これ…ウセになっちゃうかも♡

ホントはダメなのに…
子宮喜んじゃってる♡



和田学園高

【学生証】



学籍番号 00324245

氏名 竹井 茉凛

生年月日 20
発行日 20

上記の者は本校の
発行日 ZZ

「はあああ〜♡
全部出し切ったよ茉凛ちゃん♡
ほらっおじさんの
種付け汁見して♡」

「写真撮るから笑ってピースして♡
おじさんの出した後広げてごらん♡」

マジでサイアク…だけど♡

今までで一番
コーションした♡♡

ハァ♡

ハァ♡

ハァ♡

ハァ♡

ドロオオ…♡

「おじさん…♡まだ出来る？♡
どうせもう出しちゃったし…♡今日は何回
出しても同じだから…ね？♡」

「へへへ♡ヘンタイだね茉凛ちゃん♡
まだまだ出せるよ♡その変わり
当たっても責任は取らないからね？♡」

「わっわかったあ♡そんな時は
今カレに何とかして貰うからあ♡
だから早くシよ？♡♡」

しょうがないよね…♡
こんな気持ちいいこと
他では絶対味わえないんだから♡

グ
グ
グ
グ
グ



21:17

TELEPHONE

メッセージ受信

まだ塾かな？今度勉強教えてもらいたいから家！

表示

閉じる

